

## 第1学年 ESD 探究 エンゲージメントカード

第1学年の学校設定科目「ESD 探究」がスタートしました。4月14日（月）に高校生活オリエンテーションの一環として、「エンゲージメントカード」を使用したグループでの活動を行いました。「エンゲージメントカード」には、「承認」や「公正性・公平性」、「秩序」といった様々な価値観が書かれたカードが88枚あります。初めに配られた7枚の価値観の手札を、山札や他人の捨てた価値観のカードと交換していくことで、最後には自分が重要だと考える価値観が手元に残っていきます。

生徒は、「エンゲージメントカード」を使用した活動を通して、自分の価値観を認識し、自分らしさについて考えることができました。また、グループ内で他人の価値観に触れ、他人が自分とは全く違う価値観を持っていることに気付くことができました。最後に、自身の最終的な手札となぜその手札を残したのかをワークシートに記入し、グループ内で発表を行いました。生徒は自分の価値観について考えることで自己理解を深め、考え方が違う他者を受け入れるという姿勢について学ぶことができました。



捨てられた手札からカードを吟味しています



自分の手札を説明

## 第2学年・第3学年 ESD 探究 課題研究の「問い立て」と「研究論文」

第2学年、第3学年でも「ESD 探究」を進めています。第2学年では9つの傘に分かれ、さらに傘の中で班を作り課題研究を始めることとなりました。まずは班のメンバーと親睦を深めるために、アイスブレイクとして「SDGs すごろく」を行いました。次に、「問いの設定」を行いました。それぞれ個人で考えた問いを持ち寄り、班員と検討しました。興味のある事柄や、日常で感じている疑問についてクロームブックで調べたり、過去の論文集を参考にするなど試行錯誤しながら問いの設定を行っています。先生方の添削からヒントを得るなどして問いをさらによりよいものにしていき、リサーチを行っています。

第3学年では、昨年度の中間発表会で大学の先生方や後輩にいただいた助言をもとに、さらにリサーチを実施して課題研究を進めてきました。現在、6月の最終発表会に向けてポスターと研究論文の作成に励んでいます。今回は互いの論文を添削し合い、相手の論文の良い点や改善点を見つけることで、自分たちの論文も客観的に見ることができ、さらなるブラッシュアップにつながりました。



2年：「SDGs すごろく」の様子



2年：班で問い立て



3年：皆で協力して研究論文を作成